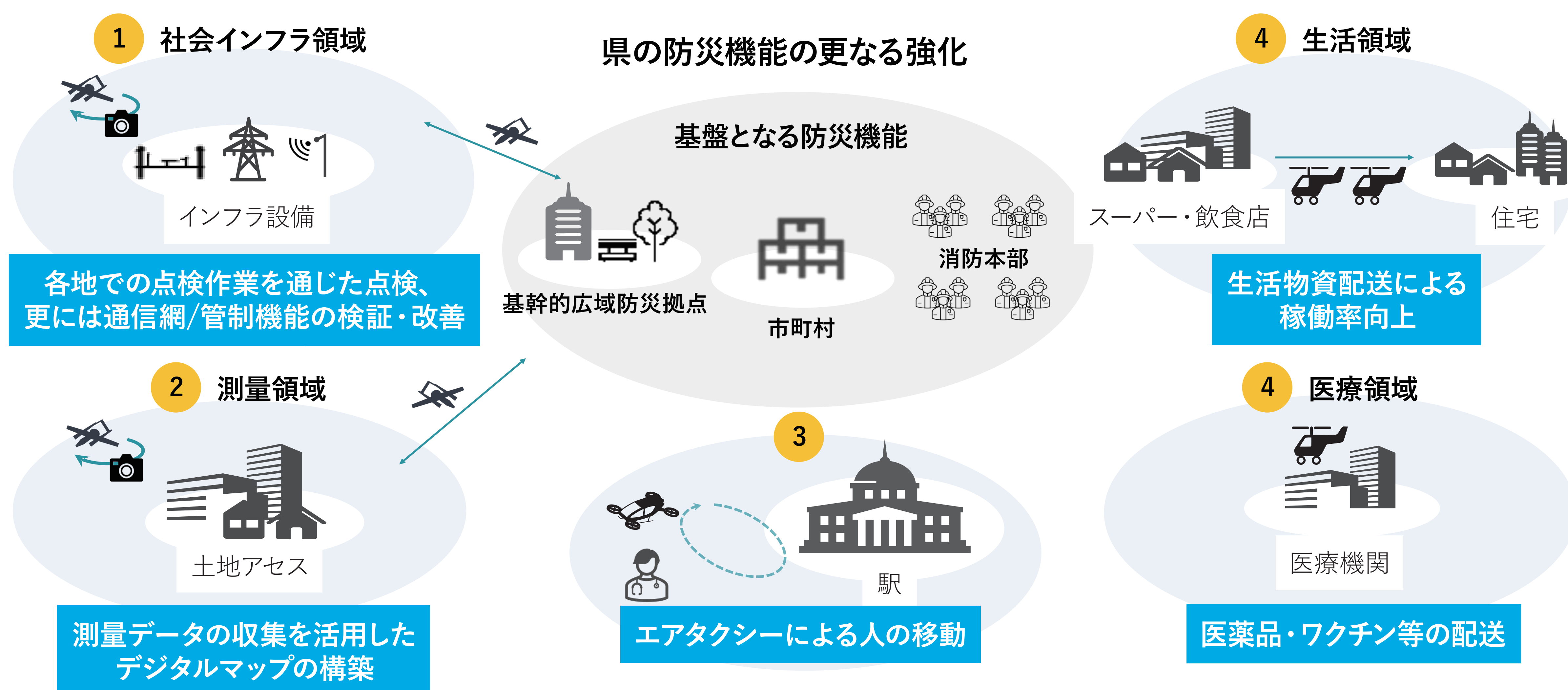


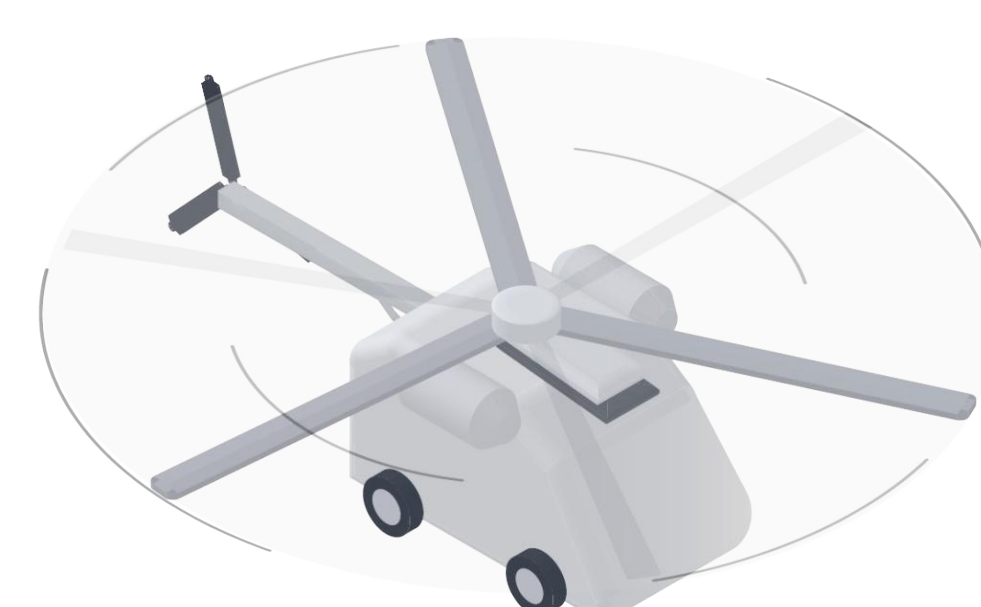
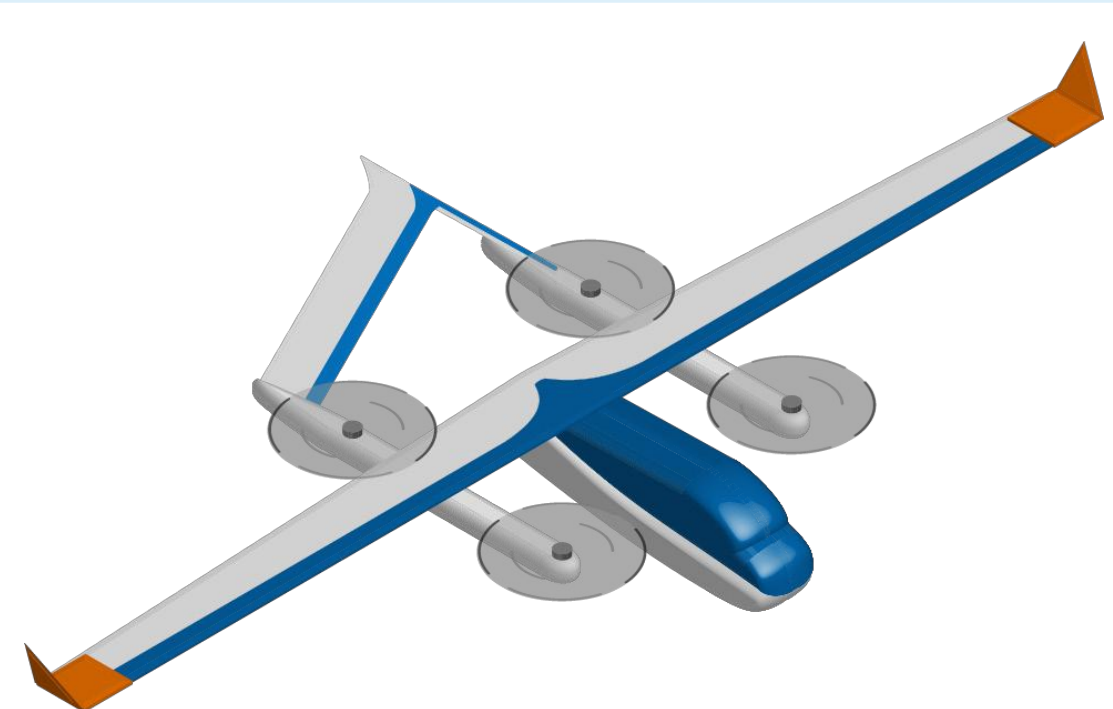
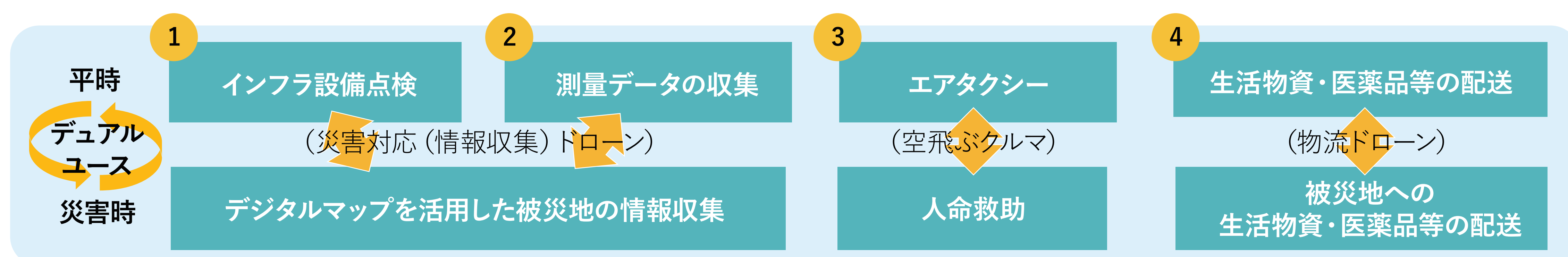
あいちモビリティイノベーションプロジェクト 愛知県次世代空モビリティ災害対応モデル



平時⇔災害時のデュアルユース！災害時に次世代空モビリティが活躍する仕組みを構築



凡例 人流 → 物流 → UAV（無人航空機）： 固定翼ドローン： 空飛ぶクルマ：



次世代空モビリティを幅広く活用することで防災DXを加速！



AICHI MOBILITY INNOVATION

Sora Michi

愛知県次世代空モビリティ災害対応チーム結成！

愛知県災害対策本部にリエゾン参加！ 各航空隊との運用調整を実施



令和7年度愛知県・田原市総合防災訓練に参加しました



愛知県災害対策本部運用訓練に参加しました

支援部隊の活動を支援する「情報伝達機能」

被災市町村の活動を支援する「次世代空モビリティ派遣機能」

目的	災害時における有人航空機の安全性を担保することを大前提として、次世代空モビリティを有効的に活用し地域の災害対応力を高める		
機能	情報伝達機能		次世代空モビリティ派遣機能
構成	災害対策ヘッドクォーター	広域情報提供ユニット	現場対応ユニット
活動イメージ	■ 愛知県災害対策本部に設置される「航空運用PT」に「愛知県次世代空モビリティ災害対応チーム」の構成員がリエゾンとして参加し各航空隊と次世代空モビリティの運用に関する連絡・調整を実施。 →大規模災害発生時は人命救助等の目的でヘリが運行しているため、次世代空モビリティの飛行がその妨げにならないよう調整を行う ■ 発災直後の被災地のデジタル地図を作成・提供 →発災直後の被災地のデジタル地図を作成し、災害対策本部やインフラ事業者等に被災地のデジタル地図を提供することで、被害状況の迅速な確認を支援し、早期の人命救助やインフラ復旧につなげる。 ■ 被災市町村のニーズに応じて次世代空モビリティ事業者を派遣。 →災害時における次世代空モビリティ利用に関する協定等を結んでいない市町村からの要請に応じ、「愛知県次世代空モビリティ災害対応チーム」の構成員を派遣し、次世代空モビリティによる被災状況の把握等を行う。		

次世代空モビリティが信頼され災害時の様々な場面で活用される世界観を目指す

